

★KOBE KODOMO NIKONIKOKAI NEWS

こうべ子どもにここ会 ニュース

第3号 2007年10月 発行



〒658-0022

神戸市東灘区深江南町 4-12-20-201

TEL&FAX 078(453)7440

Kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

<http://www.hyogo-ip.or.jp/nikoniko>

目次

●ごあいさつ

●活動報告 <日本語・教科教室> <スペイン語母語支援教室>

●その他の活動報告

●フォーカス

●コラボ事業

●声

●情報

●会員募集

●編集後記

ごあいさつ

終わることがないかと思われた猛暑の夏も過ぎ、すっかり秋めいて参りました。移ろいゆく季節は正に諸行無常です。この度、お蔭様で第3号を発刊することができました。こうべ子どもにここ会でも様々な変化を迎えています。立ち上げ当初から事務局でにここ会を支え続けてきた田中香織さんが、現在出産のため来年の3月末まで産休に入っており、彼女を中心に回っていた事務局では少し狼狽気味ですが、9月から新たな事務局コーディネーターの松井俊夫さんが入り新体制出陣で参ります。新しい風をもたらして下さることを期待しております。

にここ会に集う面々は変化しますが、基軸となるミッションは常に変わりません。「こうべ子どもにここ会は、主に東灘地域に住む多様な文化的・社会的背景を持った子どもたちとの日本語・教科学習、母語教室を通じて、子どもたちがアイデンティティーを保持し、自分自身や自文化に対する誇りを持てる環境作りをめざします。この会は、全ての子どもたちが自分以外の存在を個性として認め尊重するとともに、自らの権利を主張しもてる力を最大限に伸ばして自立していくために、学校、保護者、地域住民、ボランティア、地域教育機関とも、連携し、情報を共有または交換し合い、お互いに成長していける関係を作ります。」常にここに立ち返り、更に充実した支援を継続していきたいと願っております。今後も温かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

コーディネーター 中島永倫子

日本語・教科教室

日時 毎週木・土 16:00~18:00

場所 本庄地域福祉センター

●たなばた飾り●

毎年恒例の七夕を今年も実施しました。今年は七夕の起源を絵を使いながら説明し、子どもはそれぞれ自分の短冊を作成しました。この日に初めて参加する子どもが3人いて、短冊に絵を描き、日本語、又は母語で1人1人の力で自分の願いごとを書きました。また笹の飾りつけを子どもたちは夢中になって折り紙等で作り、飾り付けをしました。(ボランティア 服部)



●日本語・教科教室のための研修会報告●

研修報告「JSL カリキュラムを地域での学習支援に生かす」

日時 平成 19 年 9 月 15 日(土) 13:00~17:00 **場所** 国際交流会館 3F

講師 東京学芸大学教育学部 斎藤ひろみ

内容 1. JSL カリキュラムの基本的な考えかた

2. JSL カリキュラム実践例

ビデオ視聴 トピック型の授業「月」

話し合い 「授業展開と教師の支援」

3. JSL カリキュラムの授業作り (トピック型)

グループに分かれて授業の教案作成

4. ポスターセッション JSL カリキュラム授業計画

各小グループに分かれ、授業計画について発表、質疑応答・・・2 回行う (発表者、質問者を変えて)

5. まとめ

にこにこ会では今まで子どもたちに日本語、教科の学習支援をしてきた。いままでも日本語を十分に理解していない子どもたちに日本語や教科を教えるため必要と思われることを漠然としたことではあったが意識して教えてきたつもりである。今回の研修は少ない時間の中で盛りだくさんの内容があり、消化しきれないところもあったが、系統立てて JSL カリキュラムを学ぶことで、さらに日本語を習得させる上で必要な考え方を身につけることができ、教科の内容を教える中でも日本語を理解させるために意識して言葉かけをしていく必要があると実感した。

子どもたち一人一人が育った環境、年齢、日本語の習熟の度合い、理解力も違いひとまとめにして言い表すことはできないが、これからもいろいろな場面での実践例などを教えてもらい、子どもたちが日本語を楽しく習得していけるよう私たちの活動に生かしていきたいと思う。(ボランティア 下谷)

スペイン語母語支援教室

●夏休み交流会●

日時 : 8 月 24 日 (金)

場所 : 本庄小学校

本庄小学校内「児童コーナー」の子どもたちと交流会を実施しました。およそ 60 人ほどの子どもたちが集まり、2 時間ほどの楽しい交流会になりました。

日時 毎週金 15:30~17:00

場所 神戸市立本庄小学校



スペイン語母語教室の子どもたちは、スペイン語と日本語で自己紹介とペルーの文化についての紹介を行い、ナスカの地上絵やマチュピチュについて調べたことを発表しました。それに対し、児童コーナーの子どもたちはダンスを披露してくれました。



それぞれの発表の後には、母語教室の保護者が持ってきて下さったペルー料理「パパ・ア・ラ・ワンカイーナ Papa a la huancaína（じゃがいも料理）」と「チチャ・モラダ Chicha Morada（紫とうもろこしのジュース）」をみんなで食べ、ペルーの料理の紹介をしました。



次は、日本の文化紹介！と児童コーナーのスタッフの方々がミルク煎餅、海老煎やヨーヨー釣りなど、日本の屋台を用意して下さい、盛りだくさんの楽しい交流会になりました。



Otras Actividades

スペイン語 その他の活動

●夏休み宿題教室●

●日程：8月20日（月）～25日（土） 6日間

場所：こうべ子どもにこにこ会事務局

今年も夏休み宿題教室（以下、宿題教室）を行いました。

日本、フィリピン、ペルー、イランの国籍を持つ子ども達が宿題教室参加しました。6日間に毎日3～5人の子ども達が来てくれました（延べ人数23名）。年齢は小学校低学年～中学3年生まで。夏休みの宿題だけでなく、日本語のわからない子どもに対しては日本語の勉強もしました。



宿題教室に参加したボランティアは、こうべ子どもにこにこ会の活動に普段から参加しているボランティアだけでなく、夏休みの宿題教室のために募集したボランティアの方々も参加してくださいました。参加していただいたボランティアは主に周辺の大学の学生の方々です。



子どもが騒いだり、大声を出したりする時もありましたが、全体的には落ち着いた様子でした。未完成だった夏休みの宿題を終えることができた子もいました。

去年に比べ規模は小さかったものの、宿題を終わらすことができた子どもがいたり、普段のにこにこ会の活動に参加していない日本人の子ども参加もあつたりと今年の宿題教室も有意義なものになりました。（ボランティア 植田）

●こうべ多文化交流子どもキャンプ●

日程：7月21日～23日(2泊3日)

場所：しあわせの村(兵庫県)

助成：子どもゆめ基金

設立5年目に入るにこにこ会にとって、今回2泊3日という長い期間子どもたちと一緒に過ごすキャンプは初の試みでした。日頃から、子どもたちへのサポートを実施するにあたり、週に2回各2時間の教室内ではできることに限りがあることを感じており、できれば、寝食を共にしながら子どもたちとじっくり過ごすことによって、より充実したサポートができないか、と考えていました。



お陰様で子どもゆめ基金の助成を得ることで実施可能になり、20名の日本人児童を含む多国籍の子どもたちと、各日10名

	1日目 (7/21 土曜)	2日目 (7/22 日曜)	3日目 (7/23 月曜)
午前		1) JSL カリキュラム 「月」についてー	1) 旅の思い出作成
午後	1) キャンプサイトに て飯ごう体験！ 2) 自然ビンゴ！ (グループでの屋外 活動)	1) スポーツ アクティビティ 3) キャンプサイトに てBBQ	
夜	2) みんなで交流活動 (セミナー室)	4) キャンプサイトで アクティビティ	

以上の大人のスタッフたちと共に、しあわせの村のキャンプサイトにて2泊3日のキャンプを実施しました。キャンプという非常空間も手伝ってか、子どもたちはとても積極的に手伝いや片付けを行い、また、お互いに助け合いながら、様々なアクティビティ、学習、スポーツに参加し、深い友情が結ばれていく過程は、見守っているこちらにも大きな感動を与えてくれました。

最後には子どもたちから「来年もキャンプに来たい！」という声をたくさん聞くことができ、参加し関わったすべての人が喜びを持って帰路につくことができました。



◇◇キャンプに参加したボランティアの感想◇◇

今回初めて子どもたちとキャンプに行くということで、最後の1週間は常にキャンプのことを考えて緊張していました。

しかし、子どもの目線、五感、すべてのものが本当にすばらしかったです。ボランティアにとっても、忘れてしまっていたものを思い出させてくれました。子どもは本当に優しいです。人と人とのコミュニケーションの中で小さな喜びを感じて心から嬉しそうな顔をして、また親切にしてくれます。子どもがギュッと握り返してくれる小さな手から伝わってくる安心感がとてもうれしかったです。さらに「友達は最良の先生」です。子どもがほかの子どもとお友達になれる術を教えてください。しかもかなり具体的な方



法です。

子どもたちが人と人との関わりの中で成長していくのだと改めて感じました。その中で、必ず必要なものが言葉です。自分の気持ちを相手に伝えることは本当に大切なことなのです。自分の気持ちを伝えられないほどつらいことはありません。その手伝いがしたい。心からそう思いました。

今回のキャンプは、ボランティアや子ども一人一人で作上げたものだと思っています。みんなが互いに気に掛け合ったり、さりげないフォローを入れ合ったり、その場で対応できるようなアドバイスをし合ったり、関わったメンバー一人ひとりが支え合っていました。みんながお互いに助けあい、自分のできることをその場で出来ていたと思います。本当に1人1人の子ども、ボランティアさんに感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちのうれしそうな顔や「このキャンプまたしてね。先生、あたし絶対来るから！！」とか「うち〇〇ちゃんのこと大好きやねん。」とか、始めは話さなかった子どもが笑いながら走っている姿を見ていると本当に是非来年も参加したいと思いました。

●外国から来た子どもたちへの就学支援ガイダンス●

日時・会場：2007年10月7日（日） 13:30～16:00 神戸市青少年会館

2007年10月21日（日）13:30～16:00 姫路市市民会館

主催：兵庫県教育委員会

対象者：外国から来た兵庫県在住の小・中学生と保護者、学校の教師や支援者



日本ではこの十数年、外国から来た子どもたちが増加しており、その子どもたちや保護者の中には、日本の教育制度や高校・大学への進学方法が分からない人が多くいます。

兵庫県では、2005年度よりこうべ子どもにこにこ会を含むNPO(非営利団体)が中心となって外国から来た子どもたち、保護者や支援者を対象に、日本の学校システム、県内の高校進学手続き、高校の所在地や特徴、試験内容、準備方法、日本の学校への進学手続きなどを、他言語により相談に応じる就学支援ガイダンスを開催してきましたが、今年度より兵庫県が主催となって開催されました。

会場には、様々な国の子どもたち、保護者やその支援者が60名ほど参加し、熱心に説明に耳を傾けていました。また、すでに日本の高校や大学へ進学し楽しく勉強に励んでいる外国籍の学生たちから、先輩としての体験談の発表があり、後輩たちを励ましました。こうべ子どもにこにこ会で学習していたペルー人出身の学生も、県立高校への受験体験を流暢な日本語で体験を発表しました。その後、兵庫県教育委員会による個別(他言語対応)の教育相談も行われました。



第2回 臨床心理士 竹山典子

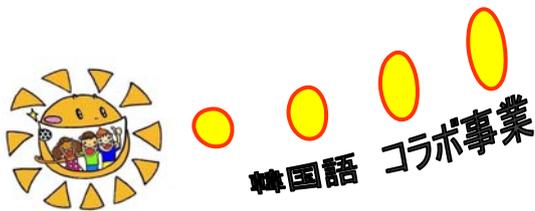
(兵庫県教育大学大学院博士課程)

私はスクールカウンセラーや病院の心理士として働きながら、在日外国人のお子さんへの心理的な支援と、彼らに関わる支援者の育成に関する研究を行っています。私とこうべ子どもにこにこ会の関わりは、昨年の夏、私の研究の一環として、日本語ボランティアの方々への聞き取り調査を依頼したのが始まりでした。その後、

月に数回訪問させていただくようになるうちに、深江地域に住む外国人の子どもさんが、日本で生活していく上でさまざまな課題を抱えていることを知りました。

そういった中で、私が直接子どもさんたちと関わり、お手伝いできることはないかと考えていた時、にこにこ会の運営スタッフの方から、新しい事業を始める提案をいただきました。それが、今年度から始まった『にこにこの部屋』です。主な活動内容は、私が月 2 回程度にこにこ会を訪問し、子どもさんの活動を観察させていただきながら、心理的なサポートが必要な場合は支援を実施すること、また保護者の方からも相談を受けることとなっています。外国人の子どもさんは、言語の課題も含め、年齢的にも自分を言葉でうまく表現できないことが多いため、絵を描いてもらい、その時の気持ちや抱えている課題を読み取っていく、という取り組みを定期的に行っています。この取り組みには、日本語ボランティアさんにも関わっていただき、私と一緒に、子どもさん一人ひとりの理解を深め、より有効な支援のあり方を考える機会になればよいと考えています。

外国人のお子さんの日本での生活環境は厳しく、地域や学校からの理解と、より多くの支援の必要性が感じられます。このような状況の中で、地域の支援団体としてのにこにこ会の役割は大きいと考えます。私も“心の支援者”として、子どもさんたち日本で生きやすくなるようなお手伝いができるよう、今後もにこにこ会と関らせていただきたいと思います。



☆☆ 月 1 回の英語教室 ☆☆

場所: フレあいスポット
JR甲南山手駅前SELVA
地下 1 階

対象: **小学生**

時間: **11:00~12:00(月 1 回)**

参加費: **1 人 1000円**
(クラフト作成費・お菓子込)
初回・継続 800 円
(詳細はお問い合わせ下さい)

お問い合わせ先
e-mail: em_kids2006@yahoo.co.jp

<http://plaza.rakuten.co.jp/EMKids/>
(当会のHPからもリンクしています。)

大阪・神戸を中心に英語イベント・サークルを開催している **EM-KIDS**
(Enjoy with Miracle Kids)とコラボレーションで英語教室を開催しています

英語という言葉ツールを使って、国籍等問わず全ての子どもたちが交流できるイベントです☆

クラスは児童英語教師の資格を持った講師が担当します。

10月27日(土)
Happy Halloween!

11月17日(土)
Thanks Giving Day

12月15日(土)
Christmas Party!

2月9日(土)
St. Valentine's Day

3月17日(土)
Happy Easter!

※ 1 月はお休みです。



第2回 松井 俊夫
(こうべ子どもにこここ会 新コーディネーター)

事務局の田中さんが出産で休んでおられますので、9月から事務局をお手伝いすることになりました松井俊夫です。土曜日のコーディネーターも兼任させていただいております。

子どもさん対象のボランティア活動は初めてですので私にとっては新しい世界です。微力ながらお手伝いさせていただきます。ボランティアのみなさんが優しい目で懸命に多国籍の子どもたちに日本語を教えておられる姿に感動しております。目下、子どもさんの名前とプロフィールを覚えるのに懸命です。ボランティアのみなさんが仕事をしやすいようにコーディネートすることと助成金の申請などを中心に事務局運営に力になりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(新任コーディネーター・事務局 松井俊夫)



★「防災訓練と地域交流ふえあ」

日時：11月4日（日） 午前10時～午後2時

場所：東灘小学校 校庭

実施主催：東灘小学校防災コミュニティ

後援：東灘消防団本庄深江分団・東灘消防署

内容：ご家族みんなで楽しく学べる防災訓練や地域交流

こうべ子どもにこここ会は、「ゲームコーナー」を出店します。

★「にこここの部屋」

臨床心理士による心のケア

毎週第1・3土曜午後 本庄福祉センター

★「クリスマス会」

子どももボランティアも毎年楽しみにしているイベントのひとつです。今年も12月15日（土）本庄福祉センターでたのしい趣向で行います。保護者の方もぜひお越しください。お待ちしております。

★ ボランティア募集

●日本語・教科支援ボランティア

各子どもの学習能力やニーズに対応し、主に日本語（国語）・数学・英語を1対1でサポートします。原則として日本語でサポートを行い、勉強会などに参加しながら行ないますので経験等は不問です。やる気のある方歓迎です。

☆活動時間：木・土 16:00～18:00 ☆活動場所：本庄地域福祉センター

●母語教室事務支援ボランティア

月に一度母語教室講師（ネイティブ講師）と話し合い、実施内容の報告書の作成など、事務的な作業に関っていただきます

●ボランティアオリエンテーションに参加してみませんか？

毎月第2・第4木曜または第1・3土曜 15:30～地域福祉センターにて

「予約制のオリエンテーション・登録会」を開催しています。予約シートをお送りしています。必ず前もってご予約ください。



会員になって私たちの活動を支えてください。

◇◆正会員【年会費 5000円】 個人

総会での議決権がある会員です。

◆◇サポーター会員【年会費 101000円】 個人10人以上・法人100人以上

経済的な支援を頂く賛助会員です。

郵便振替 0090-4-251298

こうべ子どもにここ会



本号から編集をお手伝いさせていただきました。できるだけ読みやすく、楽しいニュースになるよう工夫したつもりですが、なかなか思うようには編集できませんでした。

次号はさらに工夫したいと考えております。なお、前号より各コーナーのタイトルをにここ会に参加している子どもの言語に多言語化し横に日本語訳を入れました。（松井）